

平成 24 年 11 月 22 日

報道関係各位

銚子信用金庫

## 平成 24 年度上期の事業概況の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 松岡明夫）の平成 24 年度上期（平成 24 年 4 月～9 月）の事業概況を公表いたします。

## 1. 平成 24 年度上期の事業概況

預金積金残高は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開し、前年度末比 10,429 百万円（2.38%）増加し、448,022 百万円となりました。

貸出金残高は、事業性融資については震災関連、セーフティネット保証など信用保証協会保証付融資を主体に推進し、個人性融資については金利割引サービスを付加した住宅ローン、リフォームローン、カーローンを中心に推進しましたが、資金需要の低迷などにより、前年度末比 1,775 百万円（1.13%）減少し、154,703 百万円となりました。

収支面では、貸出金利息や預け金利息など資金運用収益が前年同期比 217 百万円減少したことなどから、業務純益は同 224 百万円減少の 1,052 百万円となりましたが、償却・個別貸倒引当金繰入額が同 439 百万円減少するなど臨時費用の減少により、経常利益は同 182 百万円増加の 888 百万円となりました。

財務面では、当期純利益 684 百万円を計上したものの、信金中央金庫あて発行済の優先出資 150 億円のうち 21 億円について、特別積立金（優先出資消却積立金）を取り崩しのうえ買入消却を実施したことから、自己資本額は前年度末比 1,460 百万円減少し、自己資本比率は同 0.74 ポイント低下の 11.57%となりました。

一方、不良債権については、每期年度当初に策定する処理計画に基づいて処理を進めるほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施し、不良債権額は前年度末比では 6 百万円減少したものの、分母となる総与信が減少したことから、不良債権比率は、前年度末比では 0.11 ポイント上昇の 9.19%となりました。

2. 平成 24 年度上期事業概況の主要計数

(1) 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 9 月末	増 減
預 金 積 金	437,593	448,022	10,429
貸 出 金	156,478	154,703	△1,775

(2) 損益の状況

単位：百万円

	平成 23 年 9 月末	平成 24 年 9 月末	増 減
業 務 純 益	1,276	1,052	△224
経 常 利 益	706	888	182
当期純利益	449	684	235

(3) 自己資本比率

自己資本比率	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 9 月末	増 減
	12.31%	11.57%	△0.74%

(4) 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 24 年 3 月末	平成 24 年 9 月末	増 減
不良債権残高	14,353	14,347	△6
不良債権比率	9.08%	9.19%	0.11%

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：森山）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel：0479-25-2115 fax：0479-22-9909 e-mail：keiki02@choshi-shinkin.co.jp

**ちよししんさん**

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>